

たじの多事総論

第三回 ～世界から見たヒロシマ～

さて、今回は八月号ということで、このテーマを。海外旅行が趣味の私はこれまで二十五六か国を訪れましたが、「君は日本のどの街から来たんだい？」というのは海外の方から聞かれる定番の質問です。そして、「広島から来た」と答えると、実に様々なリアクションをされます。

南米チリに行ったときは「ヒロシマ!? 放射能は大丈夫なのか？」と聞かれました。遠いし、南米ではあまり関心がないのかと思いましたが、中国の四川省(内陸)を訪れた時も「ヒロシマって今人住んでいるの?」という反応。一方、スペインに行ったときは「オバマが行ったんだらう。こっちでもすごいニュースになっていた」と、関心の高さを感じましたし、アメリカ人に広島出身というものがすごく気まずそうな顔をし、会話が続かなくなるなんてことはしょっちゅう。また、インドに行ったときは、列車で六人掛けのボックス席に座り、インド人たちが和やかに談笑していたのですが、「故郷はヒロシマだ」と言ったところから、席の雰囲気が一気に変わりました。「ヒロシマ? ああ原爆の? 君はアメリカをどう思うんだ?」と。そしてここから、別の席に座っていた車両中のインド人たちが合流し、数十人で白熱して議論を始めました。最

初は、私にもわかるように英語を使ってくれていましたが、途中から白熱してヒンディー語だけで激しく議論し始め、怒号が飛び交ったりと、もうカオス状態。行く場所や会う人によって反応は様々ですが、いずれにしてもヒロシマを知らない人はまずいません。

ヒロシマで生まれ育ったというのは、世界的に見ても少し特殊です。それだけで、我々には世界の人に自分の考えを伝えるというのがとても大事なのだと海外に行くたびに痛感します。もちろんそれがただ個人の考えであり、ヒロシマ全体の考えでなくとも、彼らはヒロシマで生まれ育った人の声を聞きたいと強く思っているのです。

さて、私はと言うと、色々と彼らの質問に答えた後、必ずこの言を言うようにしていました。「ぜひヒロシマにきてみてください」と。世界から見たヒロシマは、七十年以上前のあの日の印象で止まっているのです。私は原発事故で有名なあのチェルノブイリに、今人が住んでいるかどうか知りません。それと同じなのだろうと思います。今のヒロシマは、たくさんの方が住んでいて、ごはんもおいしく、有名なベースボールチームもあり、とても安全で賑やかな日本の都市のひとつ、それすら知らない人がほとんどなのです。だからこそ今ヒロシマに住んでいる我々が、どのような生活をしているかということ伝えるだけでもとても意義のあることだと思います。

倉庫開所カレンダー 平成30年9月

* 29日(土)は監事による上期実地棚卸監査日です。本所倉庫業務は行いませんのでご了承願います。

■営業時間

営業時間		午前	午後
本所・東部 高宮	平日	8:45~12:00	13:00~17:15
本所	土曜日	8:45~12:00	-

日	月	火	水	木	金	土
						1日 本所
2日	3日 本所 東部	4日 本所 高宮	5日 本所 東部	6日 本所 高宮	7日 本所 東部 高宮	8日
9日	10日 本所 東部	11日 本所 高宮	12日 本所 東部	13日 本所 高宮	14日 本所 東部 高宮	15日 本所
16日	17日	18日 本所 東部 高宮	19日 本所 東部	20日 本所 高宮	21日 本所 東部 高宮	22日
23日	24日	25日 本所 東部 高宮	26日 本所 東部	27日 本所 高宮	28日 本所 東部 高宮	29日 上期 棚卸 監査
30日	倉庫・配達に関する問い合わせは 生産振興課(和田)まで ☎0824-64-2072					